

令和 2 年 7 月 31 日

大阪市長 松井 一郎 様

一 般 社 団 法 人  
大阪市老人福祉施設連盟  
代表理事 後藤 静男

## 令和 3 年度 制度・政策及び予算要望について

日頃より、大阪市老人福祉施設連盟並びに加盟施設の運営について多大なご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連盟はこれまで貴市と協力し、高齢者福祉や地域福祉の推進に向け、積極的に活動して参りましたが、従来からの人材不足に加え、今日のコロナ禍の状況において、施設運営が非常に厳しいのが現実です。又、ソーシャルディスタンスが求められる中で、人と人とのつながりにより地域福祉の推進を図ってきたのが今後どうなるのか、非常に危惧しているところです。

このような状況を少しでも打開するためにも、令和 3 年度制度・政策及び予算について次の通り要望いたします。

その実現に御尽力賜りますようお願い申し上げます。

1. 制度・政策等の構築における協議について

- (1) 市の制度・政策の構築にあたっては、当連盟と事前に十分な協議を行った上、進めていただきたい。

2. 人材確保について

- (1) 介護の担い手事業等、当連盟の要望に沿ったモデル事業を行っていただいているが、さらに実施区の拡大や求職フェアの開催等を行っていただきたい。

3. 新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス対策については複数回意見交換の場を設けていただき、又、陽性者が出た会員施設への衛生物品の支給等をしていただいたところですが、ワクチンの開発・治療方法が未確立の中で収束が見えず、再度、要望させていただきます。

- (1) さらなる感染症対策の衛生物品等の確保、優先配布についてお願いしたい。
- (2) 施設等でクラスターが発生した場合、医学的見地から指導していただけるチームを派遣していただきたい。又、介護職員を派遣するしくみを作っていただきたい。
- (3) 引き続き陽性者の要介護高齢者が入院出来る病床の確保に努めていただきたい。又、濃厚接触者の居場所についても、確保していただきたい。
- (4) 居宅、施設でも PCR 検査が出来るしくみを構築していただきたい。又、ワクチン等が開発された場合、高齢者や施設職員等が優先的に行っていただけるよう働きかけていただきたい。
- (5) 令和 6 年度に住吉市民病院跡地に、弘済院の認知症医療・介護機能を有する新病院、老人保健施設の建設が予定されているが、新型コロナウイルスや南海トラフ地震に備え、陰圧機能やゾーンを区分けできる設計が出来ないか、前向きに検討していただきたい。

4. 軽費・ケアハウスについて

- (1) 老朽化、運営が厳しい中、大規模修繕補助金の検討や、建て替えの要綱を早急に定めていただきたい。

5. 地域包括支援センター・ランチについて

これまでの人員の増員や運営法人の選定においては、法人、包括支援センターの負担とにならないように改善していただいているところですが、地域の課題は多くなるばかりで、あらためて要望させていただきます。

- (1) 各区役所において、総合的な支援調整の場が設けられたところですが、部署・担当者によって理解度に差があり連携に苦慮するところがあるため、さらに区役所内の横断的な支援体制を指導していただきたい。
- (2) 出席が必要な会議が多く、本来業務に支障をきたしており、なるべく会議の集約化を区役所に依頼していただきたい。
- (3) 自立支援型ケアマネジメント検討会議の事務量が多く、再度あり方を含め検討していただきたい。